

## Yusuhara a Home from Home (第14部)

### イギリスのお祭りのこと (Guy Fawkes Night)

橋原学園 ALT : スティーヴン・ウダード

年の瀬がだんだんと近づくにつれて、僕の母国イギリスでもたくさんの行事が行われます。日本と同じように、いろいろな文化的背景をもつ、たくさんの行事がイギリスにも存在しますが、そうした催し物のことを「フェスティバル」と呼ぶことはほとんどありません（この言葉を使う場合は、だいたい「音楽に関するイベント」を指します）。

さて、いかにもイギリスらしいお祭りの1つに、「Guy Fawkes Night (ガイ・フォークス・ナイト/ガイ・フォークスの日)」と呼ばれるイベントがあります。このお祭りには他にもいくつかの呼び名があって、「Bonfire Night (たき火の夜)」とか、「Fireworks Night (花火の夜)」と言われることもあります。毎年11月5日の夜に開催され、それこそ国中の人々が何らかのかたちで参加します。自宅の庭で花火を打ち上げたり、きらびやかな飾りつけを見物しようと、各地で行われているイベントに出かけたりして過ごすのです。そして、このお祭りの起源となった人物、ガイ・フォークスの像が作られ、たき火にくべて燃やされます。結果的には未遂に終わった、イギリスの国会議事堂を爆破する、という事件を風化させないために……。



「ガイ・フォークスの日」の伝統的なマスクがこれです。もしかしたら、数年前に世間を騒がせたハッカー集団「アノニマス」を思い出した方もいらっしゃるかもしれませんが（あのマスクは、このお祭りのマスクから採られたんですね）。

とにかく、この時の花火とたき火は本当に壮観で、見ていてワクワクします。イギリスでは花火は年に2回しか打ち上げられることがなくて、このガイ・フォークス・ナイトと、新年の時にだいたい限られます。このイベントにまつわる有名な詩があるので、最後にそれをみなさんに紹介しましょう。よく知られている、一番短いバージョンがこれです。

「11月5日を忘れるな、火薬を使った反逆と陰謀を。」

この陰謀事件のことは、忘れようにも忘れられない。」

(日本語訳 : 町 ALT 森竹弘喜)

#### 【ひとこと : 火薬陰謀事件 (1605年)】

当時のイングランド国王ジェームズ1世の暗殺を企てたが、失敗に終わった政府転覆未遂事件。この年の11月5日に行われる予定であった議会開会式にあわせ、大量の火薬で議場ごと爆破し、国王とその側近たちをまとめて殺害する計画であった。ガイ・フォークスは、首謀者の1人だった。